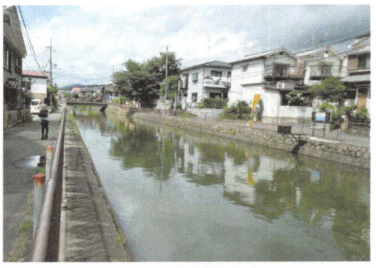
文化となりわいの景観

ー持続可能社会の構築を目指してー

里山学研究

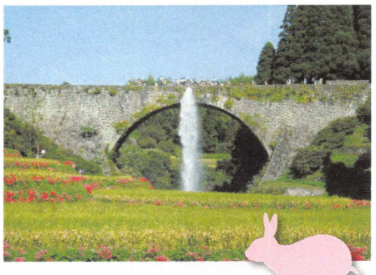












龍谷大学　里山学研究センター

2012年度　年次報告書

巻頭言

里山学研究センター　センター長
牛尾　洋也

2011年３月11日の大震災から２年が過ぎました。

里山では、震災復興のまちづくりはもとより、福島原発事故が計り知れないほど大きな影響をもたらしています。山林を覆った放射能、動植物や生態系への深刻な影響のみならず、私たちの生活への直接的な不安も拭い去ることができません。

この間、政権交代があり、継続される、あるいは変更される政策の影響が里地・里山・里海の諸問題にも様々な形で及ぼされることが予想されます。里山に限っても、保全エリアと自然に帰すエリアとを区別する国土レベルでの里地里山のグランドデザインの検討がなされています。より広く原発政策、自然再生エネルギー政策、生物多様性戦略、コンパクトシティー化、都市緑地の見直しなどの他、経済戦略として新たにTPP参加問題などが加わり、環境や食料の保全から、天然資源の維持管理、国土・まちづくりの諸政策などもこれからどのような方針が示されるのか見つめてゆかねばなりません。

しかし、時々の個別政策の如何に関わらず、実際に過疎化・高齢化が進行する中山間地で生活を営んでいる方々、あるいは地域づくりや自然環境の保全に取り組んでいる方々の課題は、テーマや主体の違いを超えて共通しています。里山学研究センターが今年度から新たに３年間取組む「里山モデルによる持続可能社会の構築に関する総合研究」というプロジェクトもこうした普遍的課題の解決に向けて取組むものです。

かつてローマのカエサルは、危機的な現実を前にした人間の一般的性向として、「願わしいものなら喜んで本当と思い込む」欠点を指摘しました（カエサル『ガリア戦記』（國原吉之助訳　講談社学術文庫　1994年）第３巻第18章111頁）。里山を含む環境保全の危機的な状況を前に、私たちには可能な限りリアルな認識と行動が求められるでしょう。

今年度は、課題解決に向けた一つの視角として、文化庁、都道府県や市町村が進める「重要文化的景観」制度の意義について『文化となりわいの景観・地域づくり』というタイトルでシンポジウムを行い、多くの市民や学生、専門家や行政の方々を交え活発に議論しました。

これからもこうした「里山学」研究の協働を追求してゆきたいと考えています。

2013年３月６日

目　次

巻頭言　牛尾洋也

目　次

1．シンポジウム第３回「21世紀の景観とまちづくりサミット in 京都」
「文化となりわいの景観・地域づくり～重要文化的景観の課題と可能性～」
プログラム

Ⅰ．開会のご挨拶　佐藤研司…… 3

Ⅱ．オープニング　川上友貴…… 5

Ⅲ．基調講演「魅力ある風景を未来へ」
～文化的景観でできること・できないこと～　鈴木地平…… 6

Ⅳ．ミニ講演

⑴「文化的景観保全とまちづくり」　田中尚人…… 13

⑵「都市の文化的景観としての京都・岡崎」　石川祐一…… 16

⑶「『文化的景観』とその『保全』の意味と意義」　丸山徳次…… 19

⑷「文化的景観の新たな視点の模索」　眞田章午・豊田　肇…… 23

⑸「文化的景観をめぐる論点整理」　牛尾洋也…… 25

Ⅴ．パネルディスカッション（要旨）…… 27

Ⅵ．閉会のご挨拶　川上友貴…… 34

2．研究会報告

⑴　第１回研究会

「野に出て生活を学ぶ・地域の光をデザインする
―エコミュージアムによる地域づくり―」　三橋俊雄…… 39

「『龍谷の森』と周辺地域での取り組み」　林　珠乃…… 40

⑵　第２回研究会

「都市景観創造から生活空間形成へ―法規制に優先する基本的人権―」
水島　信…… 42

⑶　第３回研究会

「水田と生物多様性：ラムサール条約COP11（ルーマニア・ブカレスト）における展開
―ローカルの活動をグローバル発信する意義と課題―」
呉地正行…… 47

⑷　第４回研究会

「岩手県気仙地域における茶栽培と製茶の歴史的展開―人びとの生業としての気仙茶―」
伊達浩憲…… 63

「放射能汚染下における里山利用の諸課題
―第８回大学間里山交流会（於宇都宮大学）での議論から」
谷垣岳人…… 84

(5) 第５回研究会
「里山と〈ミクロコスモス〉の思想―社会思想の立場から」 村澤真保呂…… 86
「台湾林業の現状―台湾南部の現地調査より―」 渡辺邦博・山本英司…… 87

３．研究活動報告
(1) 「龍谷の森」での学生の研究活動 宮浦富保…… 91

(2) 薪ストーブ燃焼ガスの触媒によるクリーン化に関する基礎的研究
玉井康仁・占部武生…… 93
(3) 2012年度に自動撮影装置を用いて確認した「龍谷の森」の哺乳類
谷村敬吾・横田岳人…… 97

(4) 「龍谷の森」の鳥類相（2012年度の調査から） 谷川洋平・横田岳人…… 103
(5) 深草キャンパスにおける外来性蘚苔類コモチネジレゴケの初認報告と
「龍谷の森」への分布拡大の可能性について 鈴木　雅・横田岳人…… 108
(6) 人里や里山に生育する様々な植物の菌根共生 岩瀬剛二・八木瑛多
田隝ゆう紀・三原健太郎… 112
(7) ヨーロッパの公園と街を飾る日本の植物・補遺 江南和幸…… 116
(8) ソヨゴ材およびナラ枯れによるコナラ枯死材のきのこ栽培への利用
山中勝次…… 131
(9) 現代の炭焼き活動：里山保全と二酸化炭素の削減を目指して
高桑　進・江南和幸…… 136
(10) 2012年度熊本県景観ヒアリング調査報告
牛尾洋也・みらいの環境を支える龍谷プロジェクト…… 140
(11) イギリスの地域自然資源の保全に関する調査報告 牛尾洋也・吉岡祥充
池田恒男・渡辺邦博…… 152
(12) 火入れ型草地の植生と種多様性に及ぼす放牧の影響 高橋佳孝…… 181

４．研究論文
(1) 乱流予混合火炎における火炎と流れの相互作用 野口佳樹…… 185
(2) 「わりばし１膳の革命」～使って減らそうCO_2 高桑　進…… 194

５．活動日誌…… 201
(1) 運営会議
(2) 全体会議
(3) 研 究 会
(4) その他の活動

６．里山学研究センター関連記事一覧（2012年度）…… 205

シンポジウム

第三回
21世紀の景観とまちづくりサミット in 京都

2013年1月12日、龍谷大学 深草キャンパス 22号館 301号室

◆開会のご挨拶
佐藤　研司氏〔龍谷大学副学長〕

◆オープニング…… 13:30〜13:50
川上友貴氏〔みらいの環境を支える龍谷プロジェクト〕

◆基調講演…… 13:50〜14:20
⑴「魅力ある風景を未来へ」〜文化的景観でできること・できないこと〜
鈴木地平氏〔文化庁文化財部記念物課文化的景観部門技官〕

◆ミニ講演…… 14:30〜15:30
⑴「文化的景観保全とまちづくり」
田中尚人氏〔熊本大学政策創造研究教育センター准教授〕
⑵「都市の文化的景観としての京都・岡崎」
石川祐一氏〔京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課文化財保護技師〕
⑶「『文化的景観』とその『保全』の意味と意義」
丸山徳次氏〔龍谷大学里山学研究センター研究スタッフ・文学部教授〕
⑷「文化的景観の新たな視点の模索」
眞田章午氏・豊田肇氏〔みらいの環境を支える龍谷プロジェクト〕
⑸「文化的景観をめぐる論点整理」
牛尾洋也氏〔龍谷大学里山学研究センターセンター長・法学部教授〕

◆パネルディスカッション…… 15:45〜17:30
石川　祐一氏
加藤ゆうこ氏〔京都市文化市民局地域自治推進室まちづくりアドバイザー〕
鈴木　地平氏
田中　尚人氏
丸山　徳次氏
川上　友貴氏・豊田　肇氏

〈コーディネーター〉
牛尾　洋也氏
みらいの環境を支える龍谷プロジェクト

◆閉会のご挨拶
川上　友貴氏

2．研究会報告

研究会リスト

1）第１回研究会
開催日：2012年５月26日㈯
場　所：瀬田学舎REC小ホール
講　師：三橋俊雄氏（京都府立大学）
「野に出て生活を学ぶ・地域の光をデザインする―エコミュージアムによる地域づくり―」
林　珠乃氏（龍谷大学〈当時〉、九州産業大学）
「『龍谷の森』の取り組みについて」

2）水島信氏による講演会＋第2回研究会
開催日：2012年６月15日㈮
場　所：大宮学舎西黌２階大会議室
講演者：水島　信氏（建築家）
「都市景観創造から生活空間形成へ―法規制に優先する基本的人権―」

3）第３回研究会（講演会）
開催日：2012年７月21日
場　所：深草学舎21号館508号教室
講演者：呉地正行氏（ラムサールネットワークJAPAN、日本雁を保護する会会長）
「水田と生物多様性：ラムサール条約COP11（ルーマニア・ブカレスト）における展開
―ローカルの活動をグローバル発信する意義と課題―」

4）第４回研究会
開催日：2012年11月30日
場　所：龍谷大学深草学舎８号館４階共同研究室
テーマ：「放射能汚染下の里地里山利用」
報　告：伊達浩憲（龍谷大学）
「岩手県気仙地域における茶栽培と製茶の歴史的展開―人びとの生業としての気仙茶―」
話題提供：谷垣岳人（龍谷大学）
「放射能汚染下における里山利用の諸課題―第８回大学間里山交流会（於宇都宮大学）での議論から」

5）第５回研究会
開催日：2012年12月26日
場　所：龍谷大学深草学舎紫英館２階第２共同研究室
報　告：村澤真保呂（龍谷大学）
「里山と〈ミクロコスモス〉の思想―社会思想の立場から」
渡辺邦博氏・山本英司氏（奈良産業大学）
「台湾林業の現状―台湾南部の現地調査より―」

3．研究活動報告

4. 研究論文

5．活動日誌

6．里山学研究センター関連記事一覧（2012年度）

里山学研究
「文化となりわいの景観」
―持続可能社会の構築を目指して―

龍谷大学　里山学研究センター
2012年度　年次報告書

2013（平成25）年３月31日　発行

（編集・発行）　龍谷大学　里山学研究センター
（代表者　センター長　牛尾洋也）
〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町67
TEL：075-645-2184　FAX：075-645-2240
http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/

（印　　刷）　河北印刷 株式会社
〒601-8461　京都市南区唐橋門脇28
TEL：075-691-5121



龍谷大学　里山学研究センター　2013年３月
http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/